

お時間があれば、このところの私のアホな体験日記を読んでお付き合いください。笑っていただければ幸いです。

ここ数日、私は不思議なことを連続して体感しました。忘れないように記録しておきたいので書きます。いずれの事件？も、最後は日本人の暖かさに救われました。「日本、日本人ってまだまだ捨てたものではない。」もちろん、同時に、自らの脇の甘さを痛感し、大きな反省をしています。

◆ 歌舞伎町で財布紛失

◎ 8月1日：深夜0:00過、財布をなくした。しかも、あの新宿の歌舞伎町で。いっしょに交番まで行ってくれた友人たちも酔っていて、私がお巡りさんに何を話したか記憶にないほど、皆泥酔。不徳の至り、諦めるしかない。現金は、たまたま運悪く大金が入っていたが、諦める。しかし、財布そのものいろいろな思い出がある。30分話せる講演ネタにもしていた財布なのに……ショック！！！！

思えば、この日、舞い上がっていたのかも。上京し、ある国会議員後援会に同行させてもらい、国会議事堂内を見学。福田内閣改造真っ只中の首相官邸の横、参議院議員会館で、財務省官僚の方々と相続税に関する意見交換の場に参加。その後、この機会をコーディネートしてくださった議員さんを囲んで飲み会、日本橋で。……一生忘れないほどに、すばらしい会に参加できて、なんだかうれしくて、うれしくて。しっかり酔う。そのまま、2次会でおとなしく寝てれば何もおこらなかったのに。何で歌舞伎町にいたのでしょうか。反省。

◎ 8月2日：早朝、目覚めた時は、「何で自分がここにいるのか。変な夢でも見ていたのか。何があったんだっけ？」と朦朧とした記憶の中でボーっと考えていた。そこへ、家内から電話。「あんた！なにやらかしたの……離婚だからね。もお〜。」と。カード会社から自宅に連絡があったらしい。このところの酔っ払い続きに堪忍袋の緒が切れたようだった。二度と深酒しないと誓い、その場は納めたつもり。

ホテルを出て、日本橋あたりについては昨日のコースを見て回る。ない。日本橋地下鉄の落とし物係窓口で、東京メトロ全駅の落とし物データを検索してもらう。なし。「もうダメか。」……諦めの気持ちで、当然のごとく東京のあれこれの予定を全てキャンセル。仲間から借りたお金で、名古屋に戻る。何も言わずに

お金を貸してくれた仲間感謝。午後1時には重い足取りで事務所に戻る。早く帰れば参加するはずだった、夕方からの同窓会にも気が乗らず、欠席。私としては大変珍しいこと。

◎ 8月3日：日曜日なのに無くした分を取り戻そうと必死に仕事。夕方、奇遇にも、診断協会の年に一度の「利き酒の会」の司会をおおせつかる。泥酔による財布紛失事件を自虐ネタの笑いにして、司会の大役を終える。気持ちが最も重いのに、自分のしゃべりのいい加減さにあきれる。

◆ 奇跡が起こったか？

◎ 8月4日：先月当事務所に16年勤めてくれた総務の女性が退職して、ここ数ヶ月、ずっと意気消沈していたところに、やっと後任の方が初出勤。事務所の説明をしているところへ、「新宿警察から電話です。」という伝言。(あちゃ～、また、何か駄目押しで悪いことしちゃったのかな?) と思い電話口へ。「新宿警察ですが・・・いや～、貴方は運がいい方ですよ。」「・・・」
「財布、出てきましたよ！しかも、完全な状態で。」「ええ！！ほんとですか？」一気に気持ちが抑揚。翌日取りに行く約束をして電話を切る。初出勤の彼女が「幸運の女神」に見え、思わず、「ありがとう！」。目の前が明るくなった。日本には、すばらしく、いい方がいらっしゃるのですね。拾ってくれた人に感謝、感謝。新宿歌舞伎町で財布落として、財布の中身が満額戻る確立は、いったいどれくらいなのでしょう？

即、信金窓口へ行き、止めたキャッシュカードの後始末について処理。窓口のお姉さんが、「喪失場所を書いてください。」というので、「新宿歌舞伎町」と書いたら、「ええ～・・・」と、思いっきりのリアクション。「えへへへ～、ドラマみたいでしょ？」と誤魔かす。「でも、出てきたから。」と言うと、さらに「ウソ～？」。

4時から支部執行部会。その後、浩養園で暑気払い。ここでも不運あり。11名の予定が5人しか参加できず。キャンセル料は支払うし、食べきれない食事が出ちゃうし。あまりにも勿体ないので、お店に黙って、ビニール袋に寿司とうどんを何人前かカバンに入れ、帰宅。今回の事件のお詫びに家内に差し出したら、喜んでくれるかと思いきや、「何これ！即、生ゴミ！捨てなさい！！」さらに陰悪な分に気になる。トホホ。

◆ 東京の局地雷雨にやられる

◎ 8月5日：緊急の片付け仕事を午前中こなし、16:23 東京駅着の新幹線。東京駅に近づくにつれ、景色は雨模様。車内アナウンス「中央線は、架線事故のため運転中止中です。秋葉原経由で総武線を御利用ください。」と。ヤバイ！

5時までに新宿警察を目指す者として、焦りが生じた。なんとしても今日中に帰りたい思いで、不安なまま、秋葉原の駅ホームへ。既にあふれんばかりの人々に異様さを感じる。しかし、到着した総武線に乗ってからビックリ。ほとんど動かない徐行運転の上、各駅ごとに停車時間をやたら長く取り出した。電車内に缶詰状態。神田川はあふれんばかりの水位。とても5時に間に合わない。おしっこもしたい。。。。。

水道橋でとりあえず下車、トイレへ。駅構内はパニック映画のシーンのようになっていた。女性は長蛇の列。かわいそうに。棲ぎましい雨音と、稲妻の連続。しかし、ここで諦めては、明日の予定がパーになる。で、パニック状態になっている改札を出て、タクシーを捜す。バケツひっくり返したような雨。でも、時間ないし。なんと、大雨の中、大通りまで50mほどダッシュ！タクシーを捕まえる。ドアをたたいたら、前に先客がいると言うしぐさで行ってしまう。「ああー」その後の車は既に人が乗っている。気づいたら、自分の靴はメッシュだった。完全に泳いだ状態と同じ水浸し。パンツまでアウト。さすがに諦めて、再度、水道橋からJRに乗る。

6時過ぎ、事務所からネットで急遽手配してくれた新宿プリンスホテルに宿泊。急遽宿泊を希望したのに対応してくれたプリンスホテルに感謝。しかも、フロントで禁煙室をお願いしたら、シングルがないのでツインルームへと。部屋に入りあまりの豪華部屋なので、少しラッキー。新宿副都心が窓全体からワイドビューで見える。絵葉書のように。真下は歌舞伎町。しかし、軍資金もないし、おとなしく、2時間ドライヤーで衣服や靴を乾かす。情けなし。安めの夕食だけ外でして、あとは、室内TVで映画鑑賞。偶然名作の「失樂園」観てたら、新宿プリンスのエントランスが映ってたので思わず感動。

この日、TVニュースで知ったことであるが、新宿区ではかなりな広い地域で床下浸水し、マンホールで作業員が流され死人が出ている騒ぎもあった。地球温暖化の影響でヒートアイランド現象を起こし、超高層ビルに暖かい空気があたり、真上に積乱雲が発生する。それが雷雲になり、雷とともに、信じなれな

いような雨になる現象が近年起きているらしい。今回はその瞬間にはピッタリ当たったと言うこと？信じられない。新幹線を降りる時に、冷静に考えれば、山手線で品川回りするか、地下鉄使えば間に合う話だったのに。何でまた、電車内に缶詰になったのか。しかも、パンツまで濡れるにいたるとは。これも得られない体験なのか・・・？

◆ 税理士バッジをなくす

◎ 8月6日：新宿警察へ。基本的に警察は補導されるトラウマ経験があるのでニガテ。しかし、今回はうれしい気持ちで、新宿警察へ。西部警察？の感じよりは、中区の国税局合同庁舎そっくり。受付で入館証をもらい、会計課へ。担当のおじさんは、いきなり「運のいい人だね～。なかなか完全には出てこないよお」と言いながら、かなり時間かけて財布を出してくれる。運転免許証等の身分証明は財布の中にあるが、事務所から持っていったのは「写真付住基カード」。電子申告以外で写真付住基カードがこんなに役立ったのは初めてか？拾い主への御礼等の仕方を教えてもらい、新宿警察を出る。

まず、携帯に電話したものの拾い主の人は電話に出ない。留守電にいれ、新宿郵便局でお礼分を現金書留でしっかりと郵送。5%～20%の範囲でと法律で決まっているようで、20%送金させてもらう。スタバのカードも使いたくなり、早速使う。ちゃんと使えたので、妙にウレシ！各方面に感謝の電話をする。また、二度と落とし物しないように心に誓う。

昨日、足止めを食らわずそのまま帰っていれば、ありえなかったこともできた。丸の内NTTデータ本社のMPN担当者を支部9月講演の打合せで訪ねる。M氏とは電子申告当初以来の長い付き合いであるが、青学の後輩であることもあり、時々メールで情報をいただいている。NTTデータをいつも批判している者として、牙城に乗り込むのは妙な気持ちであった。でもいいチャンスをもたらした。加えて、通り道であることもあり、丸の内宇宙開発事業団の展示室と丸の内丸善を経由して、そのまま名古屋に戻る。

5時半から名古屋駅ルーセントタワーで会合。駅周辺で時間をつぶし、会議参加。2日間着替えもしていないので、何だか体が臭うようで気持ちよくなかった。その後、長距離移動して駅前で懇親会。財布紛失事件をネタに大笑いしていた時、右手がふと胸に行き、気づく。「あああ、バッチがない！！ショック！！支部長が始末書や紛失届け出して、会報に載っちゃうのか・・・ヤバ

シ！、どうしょわ〜。」

ともかく、無駄でも諦めず探そうと、飲み会会場からルーセントタワーまでの道のりを探す。途中掃除のおじさんがいたので、「この道にバッチ落ちてませんか？」と聞いた。全然気づかなかったとか。移動の時ではなく、新幹線の中かな、それとも時間調整で歩き回っていた時かな・・・、名駅周辺たって結構あるし・・・どの辺りか、全く想像もつかない。「ああ、始末書か・・・」とつぶやいてしまった。

と、前を歩いていたお婆さんが、急に、「あれ、これ何かしら？」って、指でつまんで上にかざしてくれた、バッチの台座である。まず、そこで驚き。そのお婆さん、親切に、「きっとこの辺に本体もあるわよ。私もよく娘のコンタクトレンズ探すから。」と言って、いっしょに探してくださった。単なる通行人なのに、なんて親切な。感謝、感謝。しかし、バッジ本体を探しているうちにいらっしゃらなくなった。その数分後、先ほどの会議会場の担当者が、来てくれた。手にバッジを持って。会議中にネジが緩んで落ちたようだ。よかった、助かった！！。協力してくれた皆さんにほんとに感謝。やはり、日本人はまだまだ、暖かいものがあるのだということを、今回、改めて確認できた気がします。

財布を届けてくれた人は、23歳の男性フリーター。しっかりした口調でお話になり、「いまどきの若者」を見直す。すごく良い人に当たったと思う。奇跡に近い幸運。バッジの台座を拾ってくださった方はその場限りで、お名前を聞く間もなかったけど、感謝。そして、今回の大騒ぎの中で、私を助けてくださった方々、心配をおかけした方々、心より感謝です。ありがとうございました。

このところ、気分がジェットコースターのように上下する事象に遭遇していたことになる。いずれも人に助けられている。やはり、人が困っている時は何をおいても助けてあげることがどんなに大切か、身に沁みてわかったような気がする。

財布、バッジをなくしたが、戻った。奇跡かもしれない。次は、「命落とさないようにしっかりしよう。」と、大きく反省している。今回の一連で運を使い果たしたのかも知れないけれど、私は運のいい人間だと確信もできました。